



東京2020 オリンピック競技大会 自転車競技ロードレース 山梨県開催決定

自転車競技ロードレースコース 山梨県道志村と山中湖村を通過

東京2020オリンピック競技大会の自転車競技ロードレースのコースは、東京都の武蔵野の森公園をスタートし、神奈川県から山梨県の道志村、山中湖村を經由し、静岡県の富士スピードウェイでゴールします。日本を象徴する富士山を間近に望みながら、起伏の激しい難易度の高いコースでは、迫力あるレース展開が期待されます。



富士山と山中湖



自転車競技ロードレースコース 道志みち (国道 413 号線)



発刊のことば

山梨県は、東京圏に隣接しながら、世界文化遺産富士山や南アルプスをはじめ日本を代表する山々に囲まれ、豊かな自然や清らかな水、高品質な農産物や高い技術と伝統のある地場産業など、多くの地域資源に溢れています。

本県は、今後、中部横断自動車道 山梨 - 静岡間の全線開通が、また 2027年にはリニア中央新幹線 品川 - 名古屋間の開業が予定されているなど、交通アクセスの飛躍的な向上により、大きく発展していく可能性を秘めています。

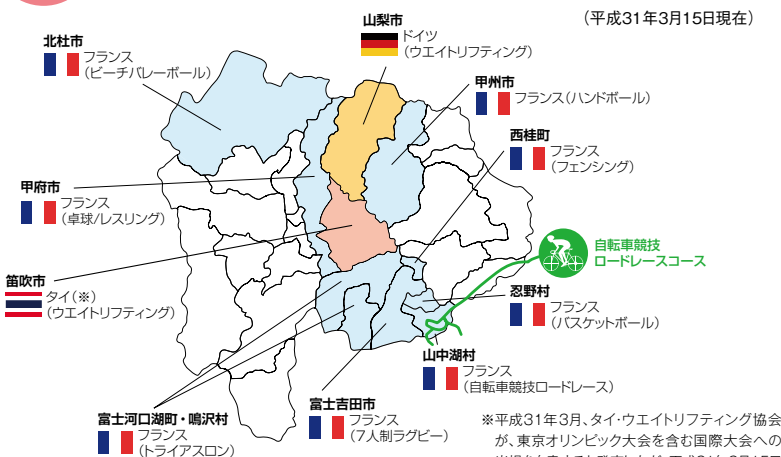
さらに、来年の東京2020オリンピック競技大会では、本県で自転車競技ロードレースの開催が決定しました。本県でのオリンピックの開催は初めてであることから、この機会を絶好のチャンスと捉え、より一層山梨を世界に発信していきます。

この冊子は、本県の今の姿を、データを中心に分かりやすく紹介しています。山梨県の資料集としてお役に立てていただくとともに、本県の持つ魅力やポテンシャルを十分に実感していただき、本県への関心を深めていただければ幸いです。

山梨県知事 長崎 幸太郎

東京2020オリンピック・パラリンピックの 事前合宿に関する協定を締結した市町村と国

(平成31年3月15日現在)



Contents

■ 県政トピック	3	■ 施設ガイド	27
■ 山梨の姿		■ 山梨の魅力	
地 勢	5	郷土に伝わる四季の祭り	29
面積・人口	7	国 宝	30
歴 史	9	世界遺産	31
先 人	11	日本遺産	32
産 業	13	山梨の逸品	33
国際交流	17	山梨の郷土食	35
データファイル	19	山梨散策	37
■ 県の組織	23		
■ 県の予算	25		

■ 表紙の写真 上：富士北麓から撮影した富士山
下：超電導リニア「新型車両 L0(エル・ゼロ)系」

県政トピック

Topics



「日本の未来を切り拓く地・山梨づくり」に向けて 長崎県政スタート!

今、山梨県では、リニア中央新幹線や中部横断自動車道など県民の生活に豊かさをもたらす国家プロジェクトが次々に進行しています。

この過去最大のチャンスを生かし、県民の皆さんが、昨日より今日が良くなったという「実感」、今日より明日が良くなるという「確信」が持てる、希望と元気と活力のある山梨づくりに取り組んでいきます。

交通アクセスの飛躍的向上によって 大きな可能性を秘める山梨

2027年 リニア中央新幹線 品川-名古屋間開業

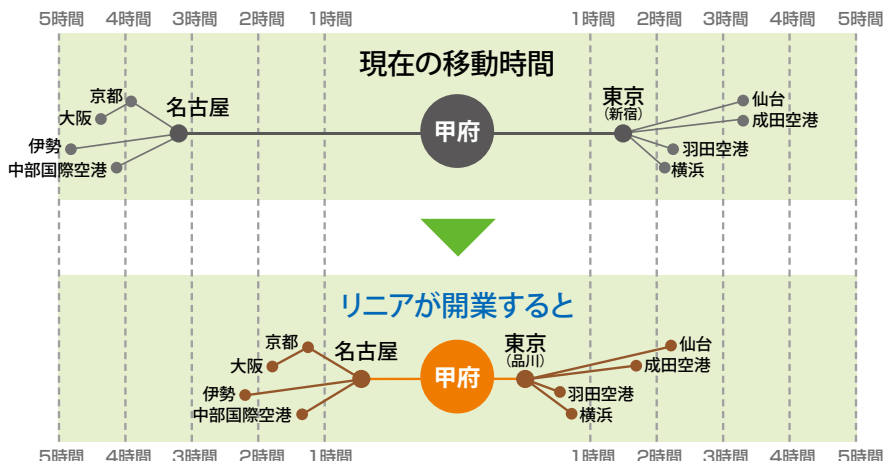
リニア中央新幹線は、品川から甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部、名古屋市付近、奈良市付近を經由し、大阪市までの約438kmを約1時間（最高時速およそ500^{km/h}）で結ぶ新たな新幹線です。2027年には品川-名古屋間が先行開業し、その後、大阪まで延伸されます。



リニアが開業すると

リニア中央新幹線が開業すると、甲府と東京都心が約25分で結ばれるようになり、また、中京圏・関西圏からの無理のない日帰り旅行も可能になります。

さらに、主要な空港からの所要時間も大幅に短縮されることから、人と情報の交流密度が飛躍的に向上することが期待できます。



■ 中部横断自動車道 山梨-静岡間全線開通に向けて

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を經由して長野県小諸市に至る延長約132kmの高速道路です。2019年3月には、富沢IC～新清水JCT間が開通し、山梨県は約40年ぶりに高速道路で他県とつながり、現在、山梨-静岡間（双葉JCT～新清水JCT）の全線開通に向け、残る下部温泉早川IC～富沢IC間の整備を進めています。



富沢IC（静岡方面を望む）（提供：NEXCO中日本）



新清水JCT（甲府方面を望む）（提供：NEXCO中日本）

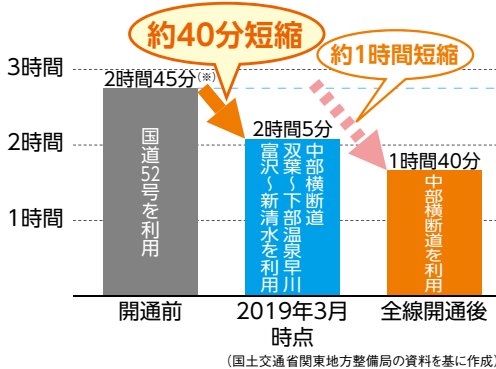
中部横断道が開通すると

中部横断自動車道が開通すると、東名高速道路、新東名高速道路、中央自動車道、上信越自動車道がつながり、日本海・太平洋の臨海地域と山梨県・長野県との連携・交流が促進されます。

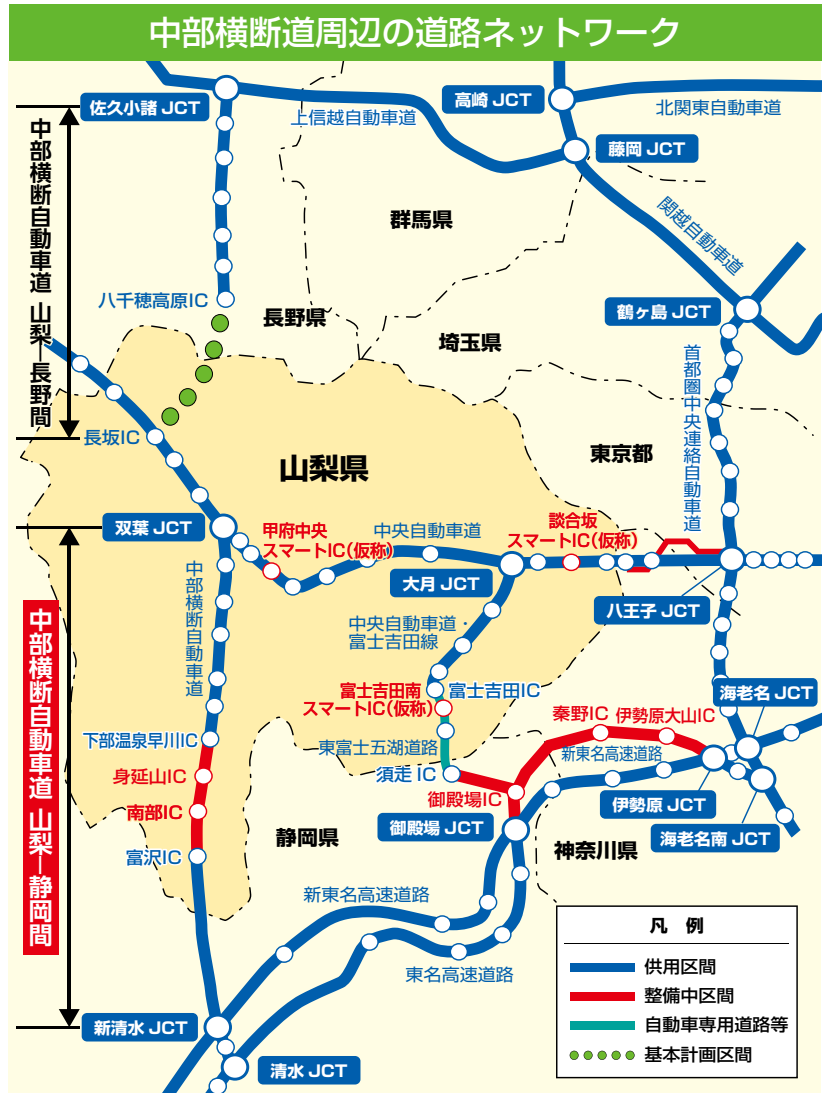
また、山梨県の産業・経済の発展や観光振興に寄与するとともに、大規模災害発生時の避難や救命救急など、命の道ともなる重要な役割を担うことが期待できます。

移動時間の大幅な短縮

山梨県から静岡県までの移動時間が約1時間短縮されます。



注) 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道を対象に算出。
 高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h
 山梨県庁から静岡県庁への移動時間を算出。
 ※ 中部横断自動車道（双葉JCT～新清水JCT）を利用しないという設定で移動時間を算出。



地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

山梨は周囲を急峻な山々に囲まれています。

北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる赤石山脈（南アルプス）、南部には世界遺産富士山（3,776m）、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。

これらの山地は、山岳、森林、湖沼、溪谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園など、自然公園にも指定されています。

おもな川 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)	(流路延長)
富士川 <small>(釜無川を含む)</small>	122.40km	日 川 28.40km
早 川	61.00km	鶴 川 24.05km
桂 川	52.85km	芦 川 23.64km
笛吹川	46.50km	道志川 20.00km
荒 川	34.00km	多摩川 19.74km <small>(丹波川を含む)</small>
塩 川	33.06km	

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

おもな湖沼

	(面積)	(周囲)	(深さ)	(標高)
富士五湖	山中湖 6.57km ²	13.87km	13.3m	980.5m
	河口湖 5.48km ²	20.94km	14.6m	830.5m
	本栖湖 4.70km ²	11.82km	121.6m	900.0m
	西湖 2.10km ²	9.85km	71.5m	900.0m
	精進湖 0.51km ²	6.80km	15.2m	900.0m

資料:国土地理院

おもな山 日本の高い山トップ3が山梨にあります。



	(標高)	(標高)
富士山	3,776m	駒ヶ岳 2,967m
		赤 岳 2,899m
白根三山	北 岳 3,193m	観音ヶ岳 2,841m
	間ノ岳 3,190m	薬師ヶ岳 2,780m
	仙丈ヶ岳 3,033m	地藏ヶ岳 2,764m
	農鳥岳 3,026m	鳳凰三山

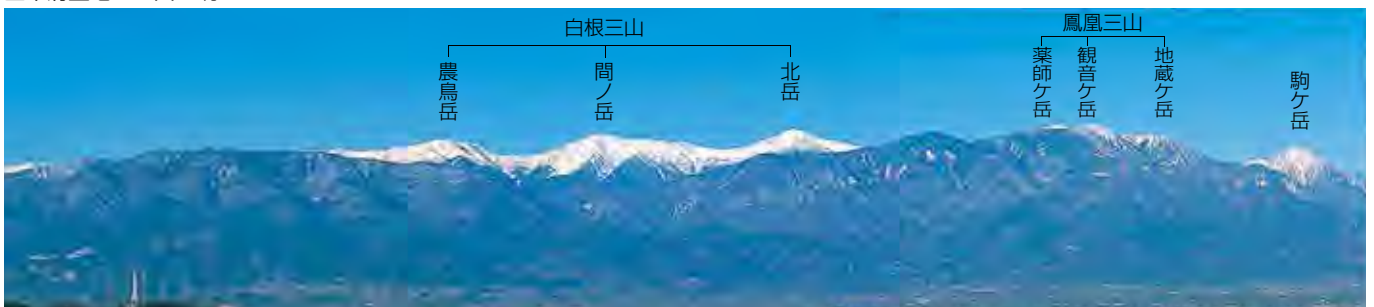
資料:国土地理院

自然公園 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

	(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園	36,796ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月 1日
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
南アルプス国立公園	18,286ha	斐崎市外2市1町	昭和39年6月 1日
八ヶ岳中信高原国定公園	4,088ha	北杜市	昭和39年6月 1日
県立四尾連湖自然公園	362ha	市川三郷町	昭和34年4月 2日
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha	韮崎市外2市3町	昭和41年4月 1日

(注)面積は山梨県分 資料:環境省自然環境局

■甲府盆地から西を眺めると



この写真は、八代ふるさと公園(笛吹市)から撮影したものです

■甲府盆地から北東を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです



■甲府盆地から南東を眺めると



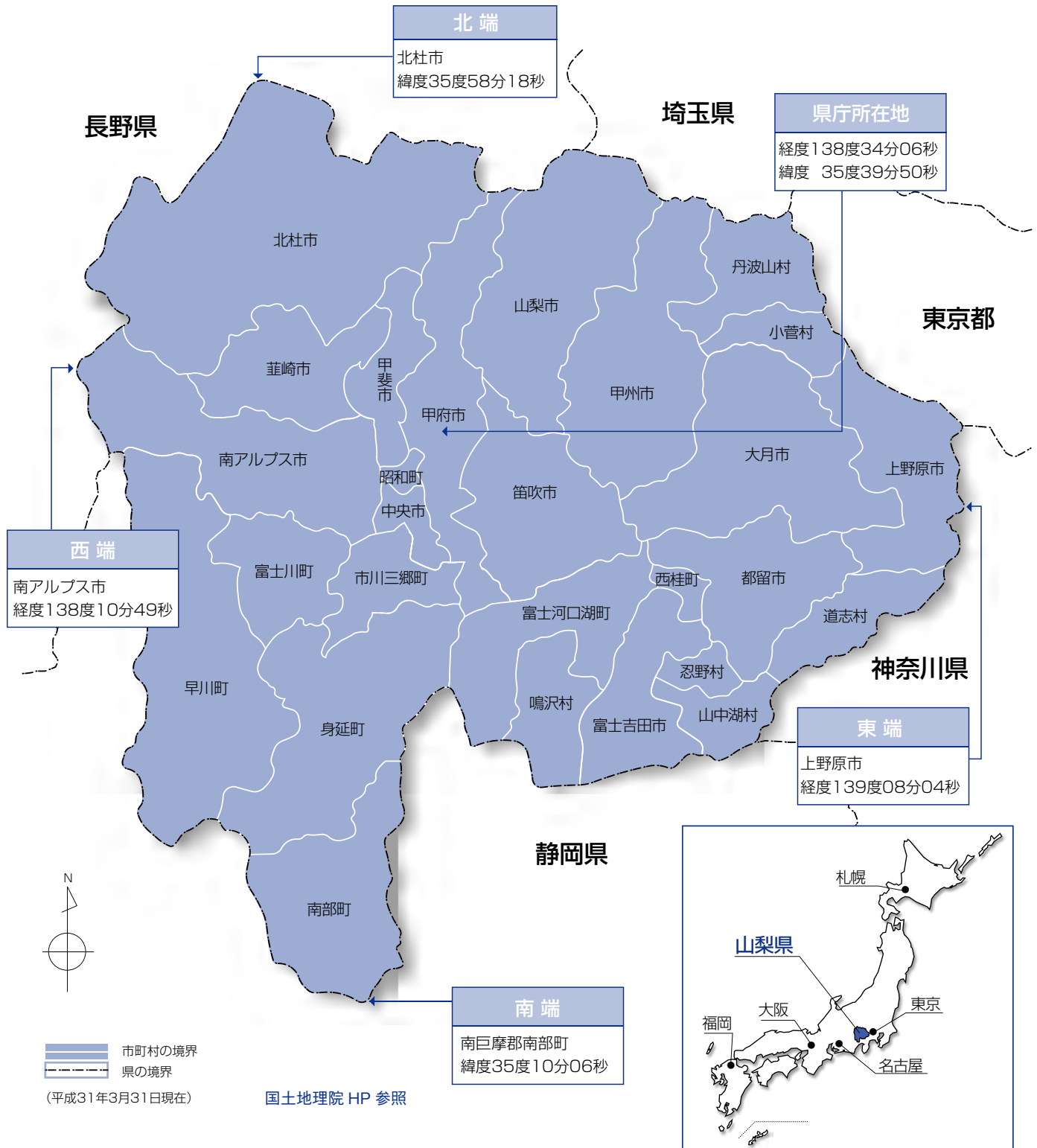
この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

面積・人口

Area and Population

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,974.17km² (平成30年10月1日現在) の約100分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。

総面積 *4,465.27km² 全国 第32位 (平成30年10月1日現在)



総人口 818,391 人 (平成30年10月1日現在)

■市町村別人口・世帯数

山梨県の市町村数は、27 (13市8町6村) です。

市町村名	面積 (H30.10.1) km ²	人口 (H30.10.1)			世帯数 (H30.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
県 合 計	* 4,465.27	818,391	400,858	417,533	337,325
市 部 計	* 2,816.42	698,756	341,588	357,168	289,488
郡 部 計	* 1,648.85	119,635	59,270	60,365	47,837
甲 府 市	212.47	189,589	92,736	96,853	86,019
富士吉田市	* 121.74	47,703	23,249	24,454	18,606
都 留 市	161.63	31,174	15,022	16,152	13,675
山 梨 市	289.80	33,810	16,289	17,521	12,996
大 月 市	280.25	23,718	11,528	12,190	9,672
韮 崎 市	143.69	29,962	14,968	14,994	11,957
南アルプス市	264.14	70,129	34,418	35,711	26,018
北 杜 市	602.48	44,263	21,580	22,683	18,808
甲 斐 市	71.95	75,225	36,998	38,227	30,877
笛 吹 市	201.92	68,616	33,265	35,351	27,011
上 野 原 市	170.57	23,448	11,739	11,709	9,596
甲 州 市	264.11	30,254	14,536	15,718	11,316
中 央 市	31.69	30,865	15,260	15,605	12,937

■人口・世帯数は、平成30年山梨県常住人口調査 (平成30年10月1日現在) によります。

■面積は、国土地理院「平成30年全国都道府県市区町村別面積調」によります。

*印は境界未定により便宜上の概算数値である参考値を記載しています。

a) について、本栖湖 (4.70km²) は、水面が境界未定のため、南巨摩郡身延町と南都留郡富士河口湖町の面積及び両郡の合計には含まれません。ただし、県計、郡部計には含まれます。

四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

市町村名	面積 (H30.10.1) km ²	人口 (H30.10.1)			世帯数 (H30.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
西 八 代 郡	75.18	15,012	7,272	7,740	5,887
市川三郷町	75.18	15,012	7,272	7,740	5,887
南 巨 摩 郡	a)984.82	34,597	16,878	17,719	14,103
早 川 町	369.96	1,018	525	493	566
身 延 町	a)301.98	11,403	5,585	5,818	4,908
南 部 町	200.87	7,516	3,690	3,826	2,927
富 士 川 町	112.00	14,660	7,078	7,582	5,702
中 巨 摩 郡	9.08	20,302	10,197	10,105	8,622
昭 和 町	9.08	20,302	10,197	10,105	8,622
南 都 留 郡	* a)420.99	48,494	24,295	24,199	18,605
道 志 村	79.68	1,652	830	822	592
西 桂 町	15.22	4,172	2,023	2,149	1,497
忍 野 村	25.05	9,294	5,153	4,141	3,489
山 中 湖 村	53.05	5,163	2,548	2,615	1,914
鳴 沢 村	* 89.58	2,939	1,447	1,492	1,067
富士河口湖町	a)158.40	25,274	12,294	12,980	10,046
北 都 留 郡	154.08	1,230	628	602	620
小 菅 村	52.78	701	350	351	334
丹 波 山 村	101.30	529	278	251	286

■市町村合併の状況

合併後の名称	合併年月日	合併関係市町村
甲 府 市	平成18年 3月 1日	甲府市、中道町、上九一色村 (北部地域)
山 梨 市	平成17年 3月22日	山梨市、牧丘町、三富村
南アルプス市	平成15年 4月 1日	八田村、白根町、芦安村、若草町、櫛形町、甲西町
北 杜 市	平成16年11月 1日	明野村、須玉町、高根町、長坂町、大泉村、白州町、武川村
北 杜 市	平成18年 3月15日	[再合併] 北杜市、小淵沢町
甲 斐 市	平成16年 9月 1日	竜王町、敷島町、双葉町
笛 吹 市	平成16年10月12日	石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町
笛 吹 市	平成18年 8月 1日	[再合併] 笛吹市、芦川村
上 野 原 市	平成17年 2月13日	上野原町、秋山村
甲 州 市	平成17年11月 1日	塩山市、勝沼町、大和村
中 央 市	平成18年 2月20日	玉穂町、田富町、豊富村
市 川 三 郷 町	平成17年10月 1日	三珠町、市川大門町、六郷町
身 延 町	平成16年 9月13日	下部町、中富町、身延町
南 部 町	平成15年 3月 1日	南部町、富沢町
富 士 川 町	平成22年 3月 8日	増穂町、鰍沢町
富 士 河 口 湖 町	平成15年11月15日	河口湖町、勝山村、足和田村
富 士 河 口 湖 町	平成18年 3月 1日	[再合併] 富士河口湖町、上九一色村 (南部地域)

歴史 History

原始・古代

山梨県の大地に人々の営みが認められるのは、約3万年前からです。原始社会は、狩りや魚とり、木の実を採取する段階から、やがて米作りの段階へと進み、ムラが統合されてクニが形成されます。

4世紀末から大丸山古墳や銚子塚・丸山塚古墳が造られますが、このことから甲府市中道地区の曽根丘陵に大きな勢力が存在していたことがうかがえます。

8世紀の山梨は、甲斐国といい「山梨・八代・巨麻・都留」の4郡からなり、その中心は、国府・国衙の地名や国分寺があることから今の笛吹市の春日居町、御坂町、一宮町付近にあったといわれています。

12世紀に入ると、公家による古代国家の体制は揺らぎ、その中から台頭してきたのが武家でした。1131年ごろ、甲斐国には源義清、清光の親子が入り、甲斐源氏を興します。

中世・近世

甲斐源氏の諸氏のうち、武田氏や小笠原氏、南部氏などは後世まで繁栄します。16世紀の武田氏は、戦国大名として発展し、甲府につつじヶ崎館や要害城を築き、ここを拠点に四隣経略を進め、天下統一を目指しました。

1582年、武田氏滅亡後の甲斐国は、織田・豊臣・徳川と支配が移り、江戸幕府の下で、甲府藩(国中)・谷村藩(郡内)が成立しますが、1724年には幕府直轄地となります。甲州街道や富士川舟運の発達、物資の流通や文化の流入を促しました。

19世紀に入ると、幕藩体制の矛盾から各地に一揆が多発し、本県でも天保騒動が起きました。このころ、日本は欧米諸国の圧力により鎖国を解き、近代国家への道を歩み始めることとなります。

近代・現代

甲州は、明治元年(1868)3月に官軍が甲府城に入城した後、甲斐府から甲府県を経て、同4年11月20日に山梨県となります。(現在11月20日は「県民の日」)

明治前半は、藤村県令の勸業政策により、製糸業やぶどう酒醸造業が育成されます。後半には、中央線が開通し、産業や文化が進展します。本県の農家は、小作地率が高く、大正から昭和にかけて小作争議が多発しています。富士川舟運は、中央線の開通によって急激に衰退し、身延線の開通する昭和初期にはその歴史を閉じます。

昭和20年(1945)、終戦を迎え、戦後の農地改革によって自作農中心の体制となり、その後の農業経営は果樹への転換が著しくなります。高度経済成長期には本県でも商工業が発達しました。さらに、昭和57年(1982)の中央自動車道の全線開通後、物流が一気に増大し、ますます工業化が進みました。



丸山塚古墳

明治

- 元年(1868) 官軍甲府入城。甲斐府を置く。
- 2年(1869) 甲斐府を廃し甲府県とする。
- 4年(1871) 甲府県を山梨県に改め、土肥実国県令となる。
- 6年(1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる(翌年県令となる)。
- 9年(1876) 県病院開院。
- 10年(1877) 初の県議員選挙。第1回県会を太田町一蓮寺で開く。山梨県庁落成。



明治10年落成当時の山梨県庁

- 22年(1889) 市町村制施行。
- 23年(1890) 府県制公布。県に警察部を設置。

- 24年(1891) 県下に郡制を施行。本県に府県制を施行。
- 27年(1894) 甲府市西青沼に甲府測候所開設。
- 30年(1897) 甲府魚市場開業。
- 32年(1899) 県会議員選挙直接選挙制となる。開国橋開通。
- 33年(1900) 県立山梨県中学校を甲府城跡に新築移転。甲府電力会社開業。
- 35年(1902) 山梨県高等女学校を寿町に開校。中央線笹子隧道貫通、中央線大月駅まで開通。(翌年韮崎駅まで開通)
- 37年(1904) 甲府城跡を開放して舞鶴公園とする。
- 38年(1905) 東京～甲府間電話開通。
- 42年(1909) 県内各地で耕地整理着手。
- 44年(1911) 御料林を山梨県へ下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通。

大正

- 元年(1912) 県恩賜県有財産管理規則制定。
- 5年(1916) 県病院新築完成。
- 9年(1920) 恩賜記念の謝恩塔が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3453人。県下初の鉄筋コンクリート橋、笛吹川鵜飼橋竣工。
- 12年(1923) 富士川の鵜沢～身延間に飛行艇(プロペラ船)就航。
- 14年(1925) 県営八ヶ岳牧場開設。

昭和

- 3年(1928) 富士身延鉄道全線開通。
- 5年(1930) 県庁新庁舎(現在の別館)完成。県産繭額明治以来最高の463万貫を記録。
- 6年(1931) 中央線甲府～新宿間電化。
- 7年(1932) 富士山測候所開設。
- 10年(1935) 国鉄小海線全線開通。
- 11年(1936) 富士箱根国立公園指定。
- 16年(1941) 富士身延鉄道が国鉄身延線となる。
- 19年(1944) 酒石酸生産のためブドウの生食禁止。
- 20年(1945) 甲府大空襲、全市の74%が焦土と化す。
- 23年(1948) 県教育委員会発足。第1回県芸術祭開催。
- 24年(1949) 山梨大学開学。
- 25年(1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回全国植樹祭開催。
- 29年(1954) 塩山町が奥野田村を合併、町村合併促進法に基づく合併第1号。県立精神病院開院。
- 32年(1957) 県営西山発電所営業発電開始。



新笹子トンネル開通

- 33年(1958) 国道20号に新笹子トンネル開通。
- 34年(1959) 県農試果樹分場でジベレリン処理による種なしブドウの栽培に成功。
- 35年(1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結。
- 37年(1962) 甲府市で初の下水道使用開始。
- 39年(1964) 富士山有料道路(スバルライン)開通。
- 40年(1965) 富士山頂で世界一の気象レーダー始動。
- 41年(1966) 県立北病院開院。
- 42年(1967) 新御坂トンネル開通。
- 44年(1969) 中央自動車道富士吉田線開通。
- 45年(1970) 第1回信玄公祭り開催。県立中央病院開院。
- 46年(1971) 愛宕山こどもの国完成。河口湖大橋開通。
- 47年(1972) 昇仙峡グリーンライン開通。
- 48年(1973) 甲府精進湖有料道路開通。ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州と姉妹締結。
- 49年(1974) 県ワインセンター完成。広瀬ダム完成。
- 52年(1977) 県流通センターオープン。
- 53年(1978) 県立美術館開館。
- 54年(1979) 南アルプススーパー林道開通。中道町(現甲府市)で方形周溝墓群を発掘。
- 55年(1980) 国立山梨医科大学開学。
- 56年(1981) 甲府北バイパス全線開通。宝石美術専門学校開校。
- 57年(1982) 金川曾根広域農道竣工。県立考古博物館開館。中央自動車道全線開通。県民文化ホール竣工。
- 58年(1983) 県立あさひワークホーム竣工。
- 59年(1984) 県立総合婦人会館竣工。県歴史文化公園条例制定。
- 60年(1985) 高山植物保護に関する条例を制定。中国四川省と友好県省締結。県地産産業センターオープン。
- 61年(1986) 丘の公園、清里の森オープン。かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催。第1回県民の日。
- 62年(1987) 第1回ふれあいやまなしことぶき祭り開催。
- 63年(1988) 第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催。

平成

- 元年(1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定。東富士五湖道路全線開通。県立文学館開館。
- 2年(1990) 第14回全国育樹祭開催。国際交流センター竣工。
- 3年(1991) 県景観条例全面施行。
- 4年(1992) 大韓民国忠清北道と姉妹締結。県工業技術センター竣工。情報教育センター竣工。環境首都憲章制定。障害者幸住条例施行。
- 5年(1993) 長寿やまなし県民憲章策定。富士山有料道路マイカー規制の実施。
- 7年(1995) 防災ヘリコプター「あかふじ」運航開始。アイメッセ山梨竣工。笛吹川フルーツ公園オープン。
- 8年(1996) 地方病の流行終息宣言。富士ふれあいの村開村。
- 9年(1997) 山梨百名山選定。県環境科学研究所開所。8月8日を「やまなし『山の日』」に制定。
- 10年(1998) 雁坂トンネル開通。県立看護大学開学。県立科学館開館。県立フラワーセンター開園。富士山憲章制定。
- 11年(1999) 県立産業技術短期大学校開校。
- 12年(2000) 小瀬スポーツ公園アイスアリーナ竣工。
- 13年(2001) かいじきらめき国体開催。
- 14年(2002) 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT間開通。
- 15年(2003) 「平成の大合併」県内第一号として、新・南部町誕生。中央自動車道上野原IC～大月JCT間の6車線化拡幅工事が完成。
- 16年(2004) 舞鶴城公園稲荷櫓復元。富士の国やまなし館オープン。
- 17年(2005) やまなし・ゆめふじ国体開催。県立中央病院全院開院。山梨県立大学開学。県立博物館開館。
- 18年(2006) 中部横断自動車道「富沢IC(仮称)～六郷IC(仮称)」新直轄方式での整備決定。あけぼの医療福祉センター竣工。
- 19年(2007) 中部横断自動車道増穂以南で本線工事に着手。
- 20年(2008) 富士・東部小児初期救急医療センターオープン。琴川ダムの供用開始。
- 21年(2009) 県立美術館「ミレー館」オープン。やまなし観光推進機構が発足。山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター開所。
- 22年(2010) 県立中央病院と県立北病院が独立行政法人に移行。県立宝石美術専門学校がココリに移転。
- 23年(2011) JR東海がリニア中央新幹線ルート提示、中間駅候補地の県内合意。富士山の日条例制定。
- 24年(2012) 米倉山太陽光発電所及びPR施設「ゆめソーラー館やまなし」完成。ドクターヘリの運用開始。新県立図書館開館。
- 25年(2013) 富士の国やまなし国文祭開催。「富士山」世界遺産登録。山梨県防災新館開館。
- 26年(2014) 豪雪災害の発生。リニア見学センター新館「どきどきリニア館」開館。リニア中央新幹線着工。インターハイ開催。
- 27年(2015) 山梨近代人物館オープン。次世代フライホイール蓄電システム実証実験施設完成。大村智氏が、ノーベル賞を受賞。
- 28年(2016) 産前産後ケアセンター開設。クニマス展示館開館。富士山世界遺産センター開館。
- 29年(2017) 中部横断自動車道増穂IC～六郷IC間開通。甲府駅南口駅前広場完成。やまなし子ども・子育て支援条例制定。
- 30年(2018) 「葡萄畑が織りなす風景」、「星降る中部高地の縄文世界」日本遺産に認定。東京2020オリンピックの自転車競技ロードレースの県内開催が決定。山梨県防災基本条例制定。山梨県文化芸術基本条例制定。

先人 Forerunner

明治時代から戦前までの間、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物



わかおいっぺい 若尾逸平

(1820-1913)

南アルプス市生まれ。甲州財閥の中心人物。天秤棒から身を起こし一代で東京の電力や市電を支配するほどの財を成す。第十国立銀行（山梨中央銀行の前身）の取締役や初代甲府市長、県内初の貴族院議員となり活躍した。

山梨中銀金融資料館蔵



あめみやけいじろう 雨宮敬次郎

(1846-1911)

甲州市生まれ。甲州財閥の一人。明治の文明開化の中で常に時代の先を読み、鉄道や製鉄業などの経営に手腕を振るい、甲武鉄道（現・JR中央線の一部）の取締役となる。また、国の発展のために社会的事業にも取り組んだ。



ねづかいちろう 根津嘉一郎

(1860-1940)

山梨市生まれ。甲州財閥の一人。東武鉄道など全国の鉄道会社経営に関わり「鉄道王」と呼ばれた。文化振興にも大きく貢献し、山梨県内の全小学校にピアノを寄贈。「根津ピアノ」の愛称で、今も親しまれている。

東武博物館提供



こばやしいちそう 小林一三

(1873-1957)

韮崎市生まれ。阪急グループ創設者で、鉄道を拠点とした都市開発モデルを生み出した。阪急電鉄をはじめ、日本初のターミナル・デパートや東宝映画、宝塚歌劇団など数々の事業を立ち上げた。

阪急電鉄株式会社提供



はやかわのりつぐ 早川徳次

(1881-1942)

笛吹市生まれ。ロンドンで地下鉄事業を学び、東洋初となる地下鉄の“生みの親”となる。生涯を懸けて挑んだ地下鉄は発展を続け、首都の大動脈・東京メトロとして、今も多くの人々を運んでいる。

個人蔵



いしばしたんざん 石橋湛山

(1884-1973)

東京都生まれ。幼少期から高校時代を山梨県で過ごした。戦後、衆議院議員となり第一次吉田内閣で大蔵大臣、第一次鳩山内閣では通商産業大臣を務める。1956（昭和31）年には第55代内閣総理大臣に就任した。

石橋湛山記念財団蔵



ふじむらしろう 藤村紫朗

(1845-1909)

熊本県生まれ。14年間、山梨県の県令（県知事）として、県営勸業製糸場建設、葡萄・葡萄酒生産の振興、甲州街道の改修など殖産興業政策を推し進めた。教育にも力を注ぎ、擬洋風建築の校舎は「藤村式」と呼ばれている。

山梨中銀金融資料館蔵



ないとうたちゅう 内藤多仲

(1886-1970)

南アルプス市生まれ。建築構造技術者・学者。東京タワー、大阪通天閣、名古屋テレビ塔など、多くの塔を設計し、「耐震構造の父」「塔博士」と呼ばれた。山梨県庁本館や県民会館の設計も手掛けた。

個人蔵



たかのまさなり 高野正誠(左) (1852-1923)

つちやりゅうけん 土屋龍憲(右) (1859-1940)

甲州市生まれ。国産ワインの礎を築いた。日本初のワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」が設立された年、フランスに留学し、本場の葡萄栽培法・葡萄酒醸造法を学び、帰国後、普及に努めた。

甲州市提供



おがわまさこ 小川正子

(1902-1943)

笛吹市生まれ。ハンセン病患者救済に生涯をささげた医師。瀬戸内海に浮かぶ小島のハンセン病療養所「長島愛生園」で7年間を過ごし、体験記『小島の春』を著した。同著は、のちに映画化され大ロングランとなった。

笛吹市教育委員会提供



あさかわ たくみ
浅川 巧

(1891-1931)

北杜市生まれ。日本と朝鮮の架け橋となった林業技師。朝鮮半島に渡り、伐採により荒廃した山野の緑化に取り組みながら、朝鮮の工芸品の研究や保存にも尽力するなど、朝鮮文化をこよなく愛した。

写真提供：北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館©浅川文彦



ポール・ラッシュ

(1897-1979)

アメリカ合衆国・インディアナ州生まれ。来日後、高冷地・清里に農村センターを設立し、戦後日本の農村を復興へと導いた。創設したキープ協会は、清泉寮を拠点に、今もさまざまな活動を続けている。

©(公財)キープ協会/ポール・ラッシュ記念館



なかむらせいこ
中村星湖

(1884-1974)

富士河口湖町生まれ。富士山麓の自然を舞台に2人の少年の友情と成長を描いた『少年行』をはじめ、地方色豊かで質朴な作品を世に送り出した。自然主義作家として、郷土の文化を深く見つめ直し、その向上にも尽力した。

山梨県立文学館蔵



いとう
伊藤うた

(1868-1934)

韮崎市生まれ。私財を投じて甲府に山梨実科高等女学校(大正14年、甲府湯田高等女学校と改称。現・甲斐清和高等学校)を開設。山梨の女子教育の基礎を築き、数多くの人材を輩出した。

伊藤学園甲斐清和高等学校蔵



いいただこつ
飯田蛇笏

(1885-1962)

笛吹市生まれ。近代俳句界を代表する俳人。故郷山梨で数々の格調高い句を詠み多くの人々を魅了した。作家・芥川龍之介とも作品を通して深い交流があった。郷土を詠んだ「芋の露連山影を正しうす」は代表句の一つ。

山梨県立文学館蔵



むらおかはなこ
村岡花子

(1893-1968)

甲府市生まれ。モンゴメリの名作を翻訳した『赤毛のアン』など、欧米家庭文学を日本に紹介し、多くの人に夢と希望を与えた。ラジオの子供向けニュース番組に出演したり、童話や随筆、短歌など数多くの作品を世に残すなど、幅広い活動をした。

写真提供：赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

山梨近代人物館

— 山梨県庁舎別館2階 —

平成27年4月、県指定有形文化財である県庁舎別館内にオープンした「山梨近代人物館」では、明治時代から戦前までの間に、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物を紹介しています。また、紹介する人物に関連した講座を月1回程度開催します。

■ 第9回展示 「近代甲府を彩った人々
— 県都甲府500年 —」
展示期間: 2019年4月1日~9月27日

■ 第10回展示 「近代文学に足跡を残した人々
— 県立文学館開館30周年 —」
展示期間: 10月1日~2020年3月28日

館内には、竣工当時の内装を復元した旧知事室や正庁、県政の歴史展示、子ども向け展示などもあります。



山梨県庁舎別館



人物紹介室

■開館時間
午前9時~午後5時

■休館日
第2・4火曜日/12月29日~1月3日
※展示替え作業などに伴い臨時に休館することがあります。

■入館料：無料

■問い合わせ先：山梨近代人物館

TEL 055-231-0988
FAX 055-231-0991



旧知事室

山梨近代人物館

※ホームページ・フェイスブックで、情報を更新しています。

産業 Industry



■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、東京圏に近い有利な立地条件や変化に富んだ自然条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、畜産、野菜、水稻、花きなどの特色ある産地を形成しています。中でも、果樹は農業生産額の5割以上を占め、ブドウ、モモ、スモモは、全国一の生産量を誇っています。また、甲州牛や甲州富士桜ポークなどのブランド肉をはじめ、魅力ある農産物が数多く生まれ、本県特産のブドウ「甲州」で造られる白ワインは海外でも注目されています。

このような中、近年は新規就農者も増加しつつあり、農業の成長産業化を支える担い手として活躍が期待されています。

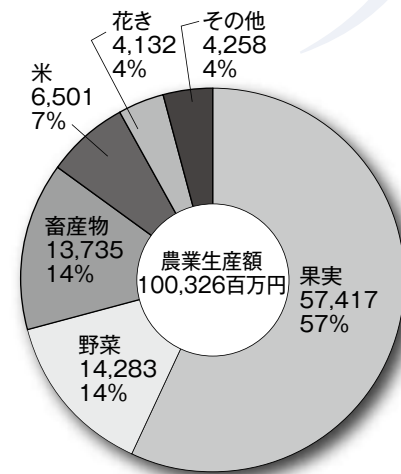


ブドウ園



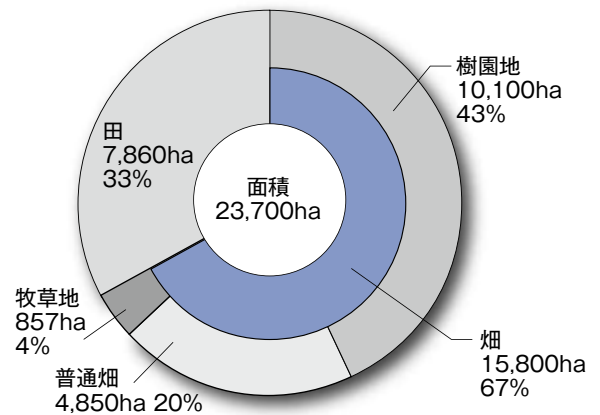
ころ柿作り

■農業生産額(平成29年) (単位:百万円)



資料：平成29年農業及び水産業生産額実績（山梨県農政課）

■耕地面積(平成30年7月15日現在)



資料：耕地及び作付面積統計（農林水産省）
（統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。）

日本一の生産量を誇る「やまなしのくだもの」

■ブドウ生産量(平成30年)

日本一	1位 山梨	41,800t
	2位 長野	31,100t
	3位 山形	16,100t
	4位 岡山	15,300t
	5位 福岡	7,300t
	全国	174,700t

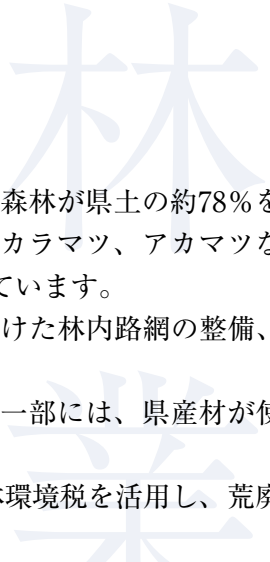
■モモ生産量(平成30年)

日本一	1位 山梨	39,400t
	2位 福島	24,200t
	3位 長野	13,200t
	4位 山形	8,070t
	5位 和歌山	7,420t
	全国	113,200t

■スモモ生産量(平成30年)

日本一	1位 山梨	7,820t
	2位 和歌山	3,330t
	3位 長野	3,090t
	4位 山形	2,000t
	5位 青森	1,060t
	全国	23,100t

参考資料：「農林水産省 作物統計調査」



山梨県は、世界的な森林認証であるFSC森林管理認証を取得した県有林をはじめ、森林が県土の約78%を占める全国有数の森林県です。このうち、森林面積の約44%を占めるスギ、ヒノキ、カラマツ、アカマツなどの人工林では、植栽から50年を経過し木材として利用可能となる森林が年々増加しています。

この充実しつつある森林資源の循環利用を推進するため、効率化・低コスト化に向けた林内路網の整備、木質バイオマスのエネルギー利用の推進などによる県産材の利用拡大に努めています。

こうした中、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの競技施設の一部には、県産材が使用されることとなりました。

また、将来にわたって水源涵養などの森林の持つ公益的機能が発揮されるよう、森林環境税を活用し、荒廃した民有林の間伐などを進めています。

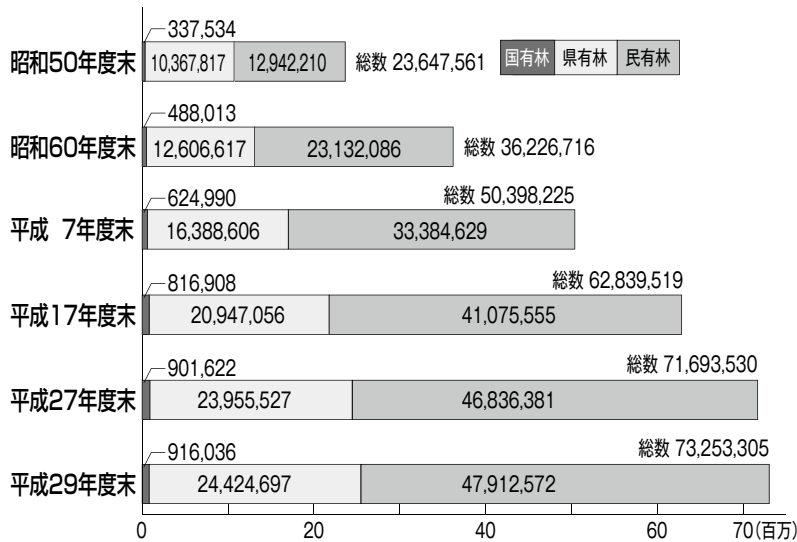


手入れが行き届いた人工林



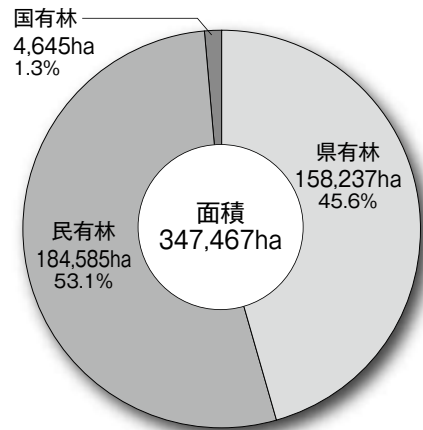
林内路網を活用した木材生産

■森林蓄積の推移 (単位：m³)



資料：「山梨県林業統計書」の各年度の数値による。
※蓄積とは森林内立木の体積の総量をいう。

■所有形態別森林面積



資料：H30山梨県林業統計書

■森林面積と森林比率

全国		山梨	
37,297千ha	総面積	446,527ha	
25,048千ha	森林面積	347,467ha	
67.2%	森林比率	77.8%	

資料：全国「全国市町村要覧 平成29年版」「2018森林・林業統計要覧」
山梨「H30山梨県林業統計書」

■人工林面積と人工林比率

全国		山梨	
25,048千ha	森林面積	347,467ha	
10,204千ha	人工林面積	153,474ha	
40.7%	人工林比率	44.2%	

資料：全国「2018森林・林業統計要覧」
山梨「H30山梨県林業統計書」

産業 *Industry*

商業

■問い合わせ先 商業について 商業振興金融課 TEL 055-223-1535
統計について 統計調査課 TEL 055-223-1341

山梨県の商業は、県民の豊かな生活を支えるとともに、本県経済の一翼を担う産業として発展してきました。しかし、昨今の商店街を取り巻く環境は、大型商業施設の進出、インターネット販売などによる購買機会の多様化や、少子高齢化等の社会構造の変化などにより、ますます厳しさを増しています。

このため、時代の変化に対応した魅力ある商店街づくりなどを目指し、活力ある個店の創出や商店街の活性化等の取り組みが行われています。

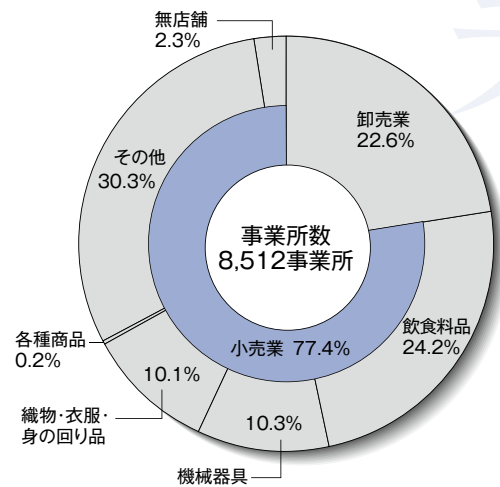


商店街人材育成セミナー（講義）

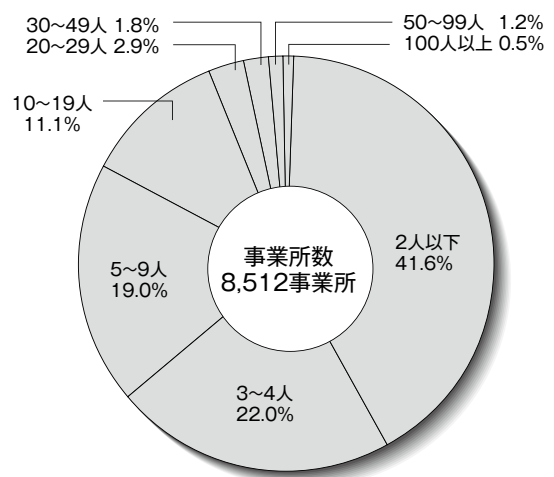


開府 500 年カウントダウン 100 日前コラボイベント（甲府市）

■業種別事業所数の構成比(平成28年)



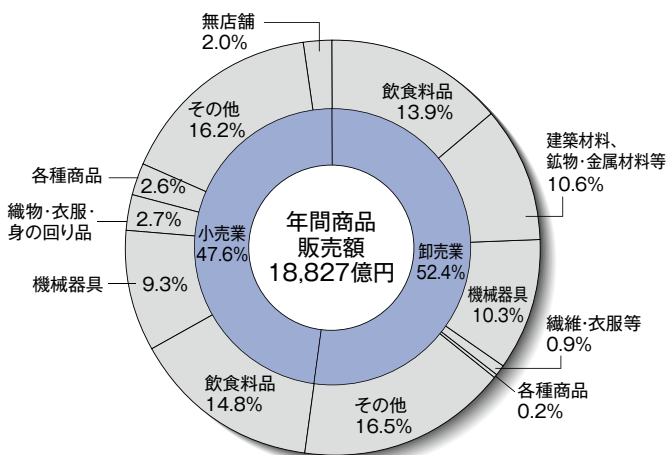
■従業者規模別事業所数の構成比(平成28年)



資料：経済センサス - 活動調査

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない)

■業種別年間商品販売額の構成比(平成27年)





■問い合わせ先 工業について 新事業・経営革新支援課 TEL 055-223-1565 | 地域産業について 地域産業振興課 TEL 055-223-8871
企業立地・支援課 TEL 055-223-1472 | 統計について 統計調査課 TEL 055-223-1341

山梨県には、全国的にも有名なジュエリー、ワイン、織物、印章、和紙をはじめ、本県の風土に根差したさまざまな地場産業があります。

さらに、エレクトロニクス（電子技術）やメカトロニクス（機械電子）などの立地も進み、活発な生産活動が展開されています。

こうした中で、ものづくり産業や水素・燃料電池関連技術に関する研究開発拠点も集積しており、工業は山梨県経済の大きなけん引力となっています。



米倉山太陽光発電所



HySUT 水素技術センター（NEDO 事業で整備）

■出荷額全国1位の主な産業（平成28年）

品目	出荷額 (百万円)	全国シェア (%)	順位 (位)
数値制御ロボット	202,486	69.5	1
ミネラルウォーター	43,999	32.7	1
半導体・IC測定器	35,152	20.3	1

資料：工業統計調査

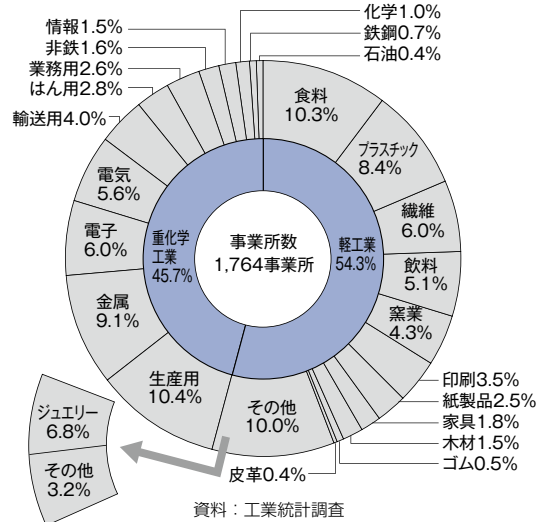
■日本ワイン生産量全国1位（平成29年度）

品目	生産量 (キロリットル)	全国シェア (%)	順位 (位)
日本ワイン ※	5,530	31.3	1

※日本国内で栽培されたブドウを100%使用して国内で醸造されたワイン

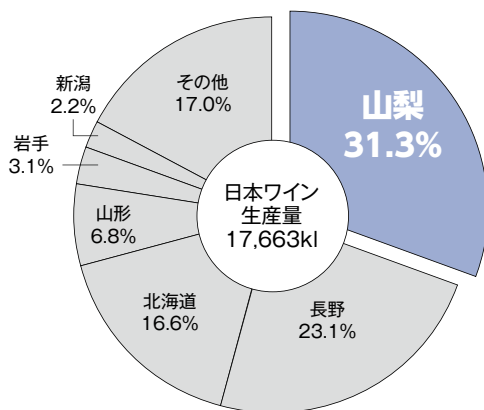
資料：果実酒製造業者実態調査

■産業別事業所数の構成比（平成29年）



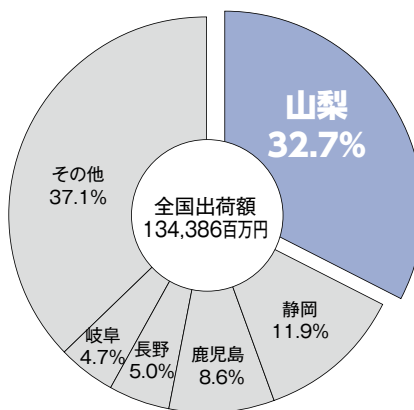
資料：工業統計調査

■日本ワイン生産量の全国シェア（平成29年度）



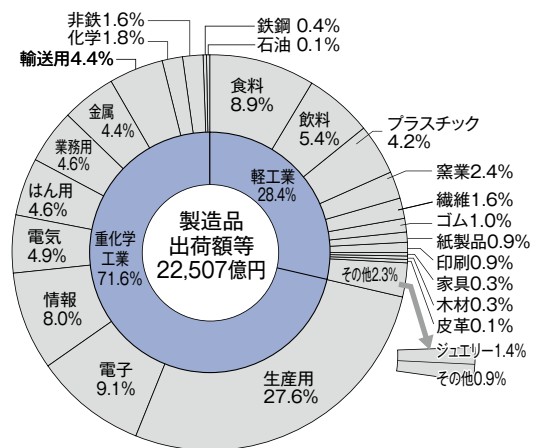
資料：果実酒製造業者実態調査
(端数処理により総数と内訳の合計は一致しない)

■ミネラルウォーター出荷額の全国シェア（平成28年）



資料：工業統計調査

■産業別製造品出荷額等の構成比（平成28年）



資料：工業統計調査
(端数処理により総数と内訳の合計は一致しない)

International Exchange 国際交流

山梨県では1960（昭和35）年に、全国に先駆けてアメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結を行いました。その後、ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州、中華人民共和国四川省、大韓民国忠清北道と姉妹・友好締結を行っています。

今後もこれら締結先との交流を一層深めるとともに、「国際化を推進する地域づくり」に取り組む中で、活発な国際交流活動を展開します。

A 友好省 中華人民共和国 四川省 1985(昭和60)年6月18日締結



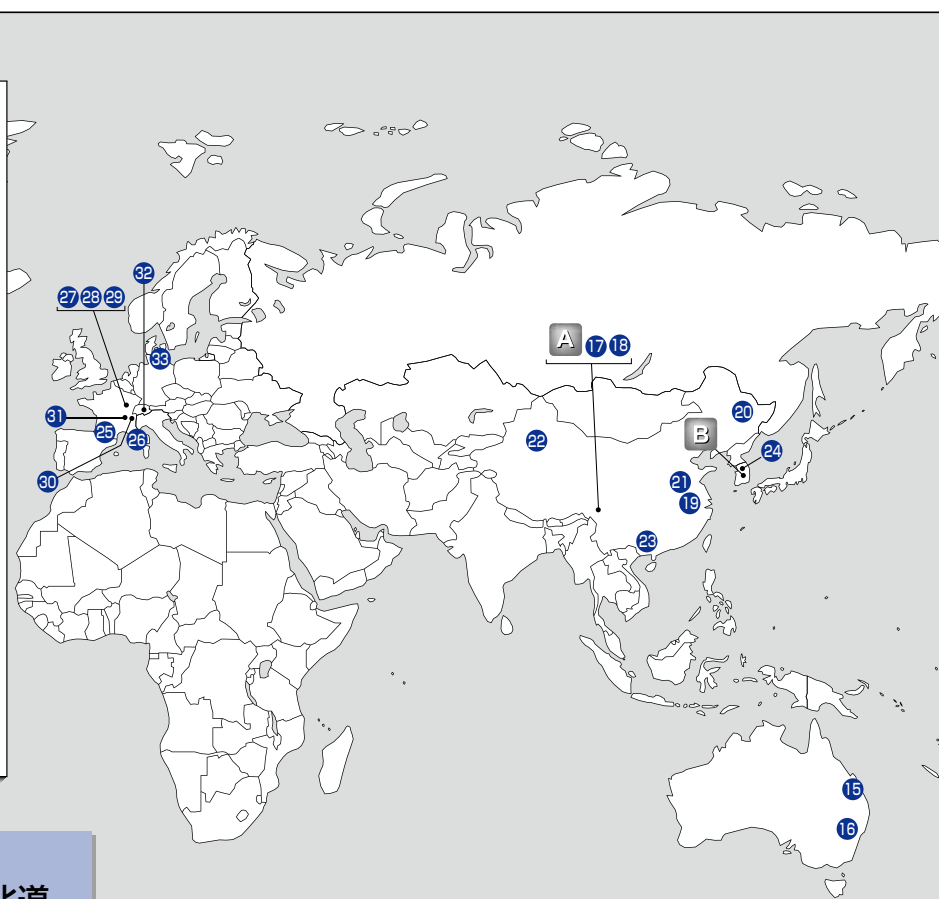
共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好県省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

- 人口 8,302万人(2017年)
- 面積 48万5千km²
- 省都 成都市 人口1,604万人(2017年)
- 農業 水稻、菜種、生糸、馬鈴しよ、養豚、茶、野菜
- 工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車

B 姉妹道 大韓民国 忠清北道 1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなど民間交流がきっかけとなり、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。本県と同じく盆地で形成され、清州国際空港や高速鉄道、工業団地などのインフラ整備により、活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 163万人(2018年)
- 面積 7千4百km²
- 道都 清州市 人口84万人(2018年)
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学



県内市町村の国際交流

甲府市	①	アメリカ	アイオワ州	デモイン市
甲州市	②	〃	〃	エイムズ市
山梨市	③	〃	〃	スーシティ市
南アルプス市	④	〃	〃	マーシャルタウン市
南アルプス市	⑤	〃	〃	ウインターセット市
甲斐市	⑥	〃	〃	キオカック市
市川三郷町	⑦	〃	〃	マスカティーン市

甲府市	⑧	アメリカ	カリフォルニア州	ロダイ市
韮崎市	⑨	〃	〃	フェアフィールド市
北杜市	⑩	〃	ケンタッキー州	ベリア市
北杜市	⑪	〃	〃	マディソン郡
北杜市	⑫	〃	〃	リッチモンド市
富士吉田市	⑬	〃	コロラド州	コロラドスプリングス市
都留市	⑭	〃	テネシー州	ヘンダーソンビル市
大月市	⑮	オーストラリア	クイーンズランド州	フレーザーコースト市
南アルプス市	⑯	〃	ニューサウスウェールズ州	クインビヤン市

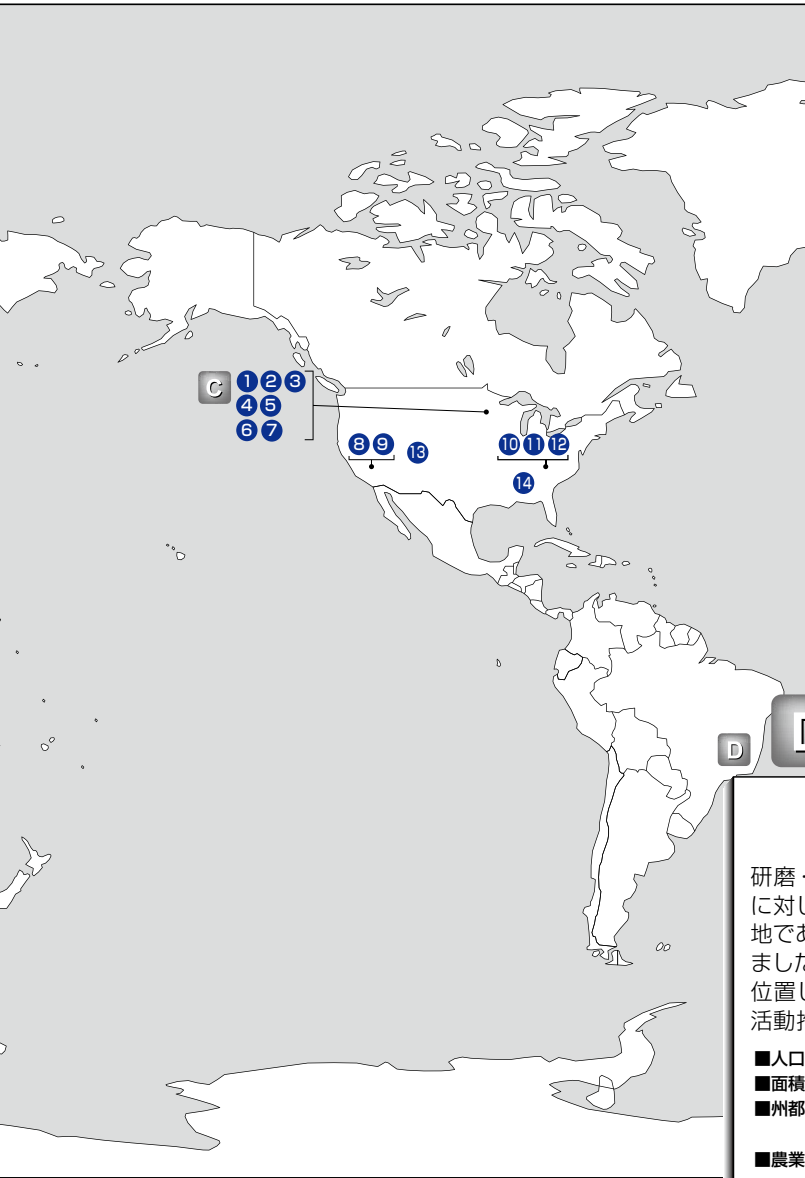
C

姉妹州
アメリカ合衆国
アイオワ州

1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風により甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県での姉妹関係としては、わが国での草分けとなりました。

- 人口 315万人(2018年)
- 面積 14万5千km²
- 州都 デモイン市 人口21万人(2017年)
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



D

姉妹州
ブラジル連邦共和国
ミナス・ジェライス州

1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んである本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。

- 人口 2,104万人(2018年)
- 面積 58万7千km²
- 州都 ペロオリゾンテ市 人口250万人(2018年)
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆
サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車



甲府市	17	中国	四川省	成都市
南アルプス市				
甲斐市	18	"	"	都江堰市
中央市				
昭和町				
山梨市	19	"	浙江省	杭州市蕭山区
韮崎市	20	"	黒龍江省	佳木斯市
笛吹市	21	"	山東省	肥城市
甲州市	22	"	新疆ウイグル自治区	トルファン市
西桂町	23	"	広西チワン族自治区	桂林市靈川県

北杜市	24	韓国	京畿道	抱川市
甲府市	25	フランス	ヌーベル＝アキテーヌ州	ピネール＝アランティック県ボー市
富士吉田市	26	"	オーベルニュ＝ヌー＝アルプ州	オート＝サヴァン県シャニオンラン市
笛吹市	27	"	ブルゴーニュ＝フランシェ＝コンテ州	コート＝ドール県ニサンヴォルジュ市
甲州市	28	"	"	コート＝ドール県ボーヌ市
忍野村	29	"	"	ソーヌ＝エ＝ロール県シャルネレマコン市
山中湖村	30	"	オーベルニュ＝ヌー＝アルプ州	オート＝サヴァン県エビアン＝レ＝バン市
鳴沢村	31	"	ブルゴーニュ＝フランシェ＝コンテ州	ジュラ県セリエール村
富士河口湖町	32	スイス	ヴァレー州フィスブ区	ツェルマット村
笛吹市	33	ドイツ	バーデン＝ヴュルテンベルク州	バート＝メルゲンハイム市

Data File データファイル

■全国から見た山梨（気象）

項目	比較年次	単位	本 県		全国最高値		全国最低値	
			指標値	順位				
日照時間（年間） 	29年	時間	2,357	1	山梨県	2,357	山形県	1,556
降水量（年間）	29年	mm	1,076	47	宮崎県	2,722	山梨県	1,076
快晴日数（年間）※ ¹	29年	日	44	6	静岡県	62	沖縄県	3
降水日数（年間）※ ²	29年	日	86	42	秋田県	192	香川県	78
雪日数（寒候年）※ ³	29年	日	9	35	北海道	130	沖縄県	0
年平均気温	29年	℃	14.9	32	沖縄県	23.6	北海道	9.1
最高気温（日最高気温の月平均の最高値）	29年	℃	33.3	12	香川県	33.9	北海道	27.7
最低気温（日最低気温の月平均の最低値）	29年	℃	- 2.3	6	沖縄県	14.7	北海道	- 7.0
年平均相対湿度	29年	%	58	47	富山県	78	山梨県	58

※¹「快晴日数」は、日平均雲量が1.5未満の日数

※²「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数

※³「雪日数（寒候年）」は、前年秋から当年春の期間の数値

資料：甲府地方気象台資料

■全国から見た山梨

項目	比較年次	単位	本 県		全国最高値		全国最低値		全 国 指標値
			指標値	順位					
人口密度（可住地面積1km当たり）	29年	人	862.3	18	東京都	9,655.1	北海道	237.8	1,033.2
可住地面積割合（対総面積）	29年	%	21.4	44	大阪府	69.8	高知県	16.4	32.9
森林面積割合（対総面積）	26年	%	77.8	3	高知県	83.3	大阪府	30.1	65.5
自然公園面積割合（対総面積）	29年	%	27.1	8	滋賀県	37.3	広島県	4.5	14.9
都市公園面積（人口一人当たり）	28年	m ²	9.49	32	北海道	25.97	東京都	4.31	9.77

資料：統計でみる都道府県のすがた 2019（総務省統計局）

一人当たり県民所得

年度	全国実数(伸び率)	本県実数(伸び率)	水準
22	2,827 ^{千円} (2.4) [%]	2,748 ^{千円} (9.7) [%]	97.2
23	2,806 (-0.7)	2,781 (1.2)	99.1
24	2,822 (0.6)	2,680 (-3.7)	95.0
25	2,938 (4.1)	2,747 (2.5)	93.5
26	2,977 (1.3)	2,678 (-2.5)	89.9
27	3,059 (2.8)	2,785 (4.0)	91.0

水準は全国=100

資料:平成27年度県民経済計算年報

製造品出荷額等

年	製造品出荷額等	全国順位	対前年伸び率	伸び率順位
23	2,215,910 ^{百万円}	33	-4.5 [%]	34
24	2,014,287	34	-9.1	46
25	1,985,155	34	-1.4	34
26	2,133,133	34	7.5	6
27	2,442,647	33	14.5	1
28	2,250,682	34	-7.9	41

資料:工業統計調査・経済センサス-活動調査

人口

昭和45年	762,029人
昭和55年	804,256人
平成 2年	852,966人
平成12年	888,172人
平成22年	863,075人
平成30年	818,391人

平成30年 **818,391人** (H30.10.1現在)

資料:山梨県常住人口調査

世帯数

昭和45年	191,447世帯
昭和55年	227,928世帯
平成 2年	263,553世帯
平成12年	308,724世帯
平成22年	327,721世帯
平成30年	337,325世帯

平成30年 **337,325世帯** (H30.10.1現在)

資料:山梨県常住人口調査

教育・文化

幼稚園数(本園)

昭和45年	55園
昭和55年	75園
平成 2年	78園
平成12年	76園
平成22年	75園
平成30年	57園

平成30年 **57園** (H30.5.1現在)

資料:学校基本調査

幼保連携型
認定こども園

41園

教育・文化

小学校・中学校数(本校)

昭和45年	347校(うち小学校 233 中学校 114)
昭和55年	326校(うち小学校 221 中学校 105)
平成 2年	315校(うち小学校 212 中学校 103)
平成12年	316校(うち小学校 211 中学校 105)
平成22年	300校(うち小学校 201 中学校 99)
平成30年	266校(うち小学校 176 中学校 90)

平成30年 **266校** (H30.5.1現在)

(うち 小学校 176 中学校 90)

資料:学校基本調査

教育・文化

高等学校数(本校)

昭和45年	40校(うち公立 30 私立 10)
昭和55年	45校(うち公立 35 私立 10)
平成 2年	47校(うち公立 37 私立 10)
平成12年	47校(うち公立 36 私立 11)
平成22年	46校(うち公立 35 私立 11)
平成30年	42校(うち公立 31 私立 11)

平成30年 **42校** (H30.5.1現在)

(うち 公立 31 私立 11)

資料:学校基本調査

教育・文化

高等学校等進学率

昭和45年	85.1%
昭和55年	95.8%
平成 2年	97.2%
平成12年	97.8%
平成22年	98.5%
平成30年	98.7%

平成30年 **98.7%** (H30.5.1現在)

資料:学校基本調査